

商品名	商品コード	備考
ハンドルロック 【SHL-01+】	ミニバン / 乗用車	881-1201100
キーシリンダーオイル	メンテナンス用品	880-9900000
		●シングルキー仕様 (MAKE LOCK 社製)
		ABLOY 製キーシリンダー専用メンテナンススプレー

●この度はカタコ製品をお買い求めいただき誠に有難うございます。説明文を良く理解して正しい取付を行ってください。

製品使用前に必ずお読みください。

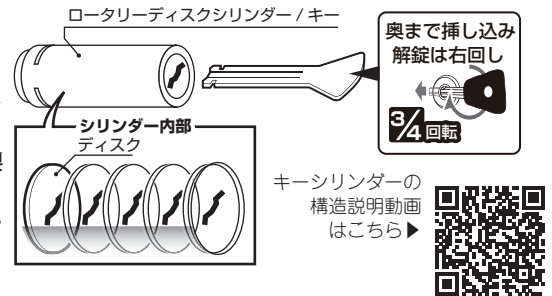
ハンドルロック 取扱い説明書

本製品のキーシリンダー（ディスクタイプ）は、一般的な鍵の構造とは異なり、特徴的なロータリーディスク構造を採用しております。

この構造は高い防犯性能を誇る特徴がありますが、使用状況により内部ディスクにズレが生じる場合があります。

これにより、キーが奥まで挿せない、または途中までしか回らないことが稀にありますが、製品自体に問題は御座いません。

この特徴を理解した上で、以下の各項目をよくお読みいただきチェック欄に✓をお願いいたします。

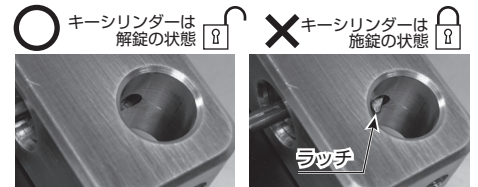


🔑 キーシリンダーの構造と取り扱いについて

✓ チェック項目

- ☐ 解錠時は、キーを時計回りに 3/4 回転させることで、キーシリンダーのラッチが下がります。
- ☐ 使用ミスによるパーツ破損や関連事故は使用者責任となり、弊社は一切の責任を負いかねます。【Fig.1-1】
- ☐ ディスクの形状が合わない場合、キーが奥まで入らないために、3/4 回転できず解錠できません。
- ☐ キーは必ず奥まで挿してから 3/4 回転回してください。途中で過度な力で無理に回そうとすると破損する恐れがあり解錠不能となる恐れがあります。絶対に行わないでください。
- ☐ キーが適正位置まで挿し込まれていないまま過度な力でキーを回し、キー本体やシリンダー内部を破損した場合は保証の対象外となります。
- ☐ 適正位置でキーが挿入されているかを確認するため、キーにマジック等で印をつけることを推奨します。【Fig.1-2】
- ☐ 本製品にキーを挿し込んだまま保管されますと、鍵が外部の物体と接触し、キー本体やキーシリンダー内部が破損する恐れがあります。必ずキーを本体から取り外したうえで保管してください。

【Fig.1-1】



【Fig.1-2】

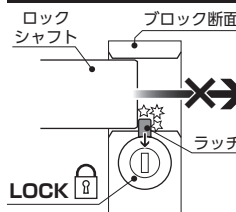


⚠ 使用前の注意事項

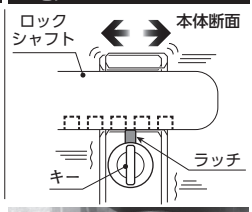
✓ チェック項目

- ☐ ハンドルロックの脱着は、必ず車のエンジンが停止した状態 / メインキー OFF の状態で行ってください。
- ☐ ロックシャフトは解錠状態（ラッチが沈んだ状態）で挿入してください。【Fig.1-1】
- ☐ 施錠状態でシャフトを無理に挿入・ラッチを押し込むと、キーシリンダー内部が破損し、解錠不能となる恐れがあります。絶対に行わないでください。【Fig.2-1】
- ☐ キーが奥まで挿し込まれているのにキーが 3/4 回転せず、途中で止まってしまう場合、ラッチがロックシャフトの穴に正しく入っていない可能性があります。アンダーブラケット（ロックシャフト側）を手で支えて固定し、本体（アッパーブラケット）を軽く前後に揺らすことで、ラッチが穴に入り込み施錠されます。【Fig.2-2】
※この際のわずかなクリアランスは、許容範囲内です。

【Fig.2-1】



【Fig.2-2】



🔑 解錠できない時の対処方法

トラブル例：キーを奥まで挿しても通常位置まで回らず、解錠できない場合、以下の手順で対処してください。

✓ チェック項目

- ☐ キーをシリンダーに入る位置まで挿し、軽くキーを押しながらゆすって時計回りや反時計回りを繰り返すことで、内部ディスクの穴位置にキーを合わせることで 3/4 (270°) 回転し解錠できます。【Fig.3-1】

【Fig.3-1】

ディスク / キーが回らない状態



🔑 鍵のアフターサービスについて

✓ チェック項目

- ☐ 合鍵製作はできません。紛失は自己責任となり、弊社は責任を負いません。
- ☐ キーを紛失した場合、悪用防止のためキーシリンダーの交換を推奨します。詳しくは No.3/3 「キーシリンダーメンテナンスサービス各種」をご確認ください。
- ☐ 防犯上、キーシリンダーの交換作業は弊社で行います。お問い合わせください。



商品名	商品コード	備考
ハンドルロック 【SHL-01+】	ミニバン / 乗用車	881-1201100
キーシリンダーオイル	メンテナンス用品	880-9900000
		●シングルキー仕様 (MAKE LOCK 社製)
		ABLOY 製キーシリンダー専用メンテナンススプレー

使用前の設定調整

補足！ 当製品の調整、装着時の使用環境について

ハンドルロックの脱着時、必ず車のエンジンが停止した状態 / メインキー OFF の状態で行ってください。車種によりドライビングポジションのメモリー機能車などはエンジン始動時と停止時でステアリング、シートなどが動くため、当製品や周辺パーツの破損の原因となります。ご注意ください。

シャフトの調整穴をハンドルの厚みに合わせ、ハンドルと隙間ができないよう施錠してください。ハンドルの厚み調整と脱着方法は、詳細説明図をご参照ください。

注意！ 強く挟みすぎるとハンドルにキズやシワなどが生じる原因となりますので、適度な力で挟んでください。

ハンドルの厚み調整

アンダーブラケットをハンドルに当たる所まで差し込みます。その状態で1) の画像のように飛び出している余分なシャフトカバーをカットします。
※シャフトカバーの脱着が困難な場合、中性洗剤等で滑りしながら抜き挿しを行ってください。

1) ハンドルに応じたシャフトカバー長を確認。



2) シャフトからカバーを抜き取ります。



3) シャフトカバーを適正な長さで調整します。



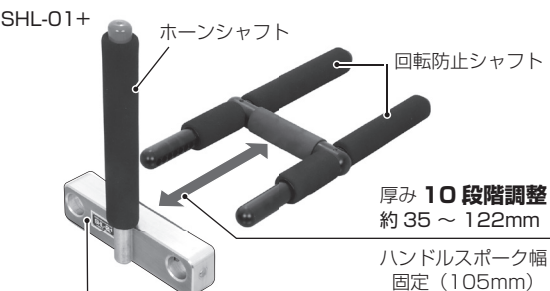
4) 必要な長さのカバーをシャフトに戻します。



5) 別紙のハンドルロックの脱着方法を確認の上、装着確認を行ってください。



※画像は SHL-01+



アップラーブラケット

ハンドルロックの脱着は、使用方法をご参照ください。

【装着確認】

アップラーブラケット設置後、ハンドルロックを軽く揺らして、ホーンが鳴るか、本体に大きなガタツキは無いが、きちんと施錠されているか確認してください。
(ハンドルロックの脱着は、必ず車のエンジンが停止した状態 / メインキー OFF の状態で行ってください)



使用方法（脱着手順）

1) ハンドル裏側から、回転防止シャフトを挿し手で支え固定します。



2) ホーンシャフトの根本を持ちながら、アンダーブラケットのシャフトに挿します。
※解錠時はキーは抜けません。施錠することでキーが抜けます。

※施錠時、キーを奥まで挿して3/4回転しない場合は、補足内容を確認！



3) キーを回して抜いたら、施錠されているか確認してください。取り外しは逆の手順で行ってください。

⚠ 取り外しの際、回転防止シャフトを保持しながら、解錠する事で安全に外す事が可能です。



※補足！

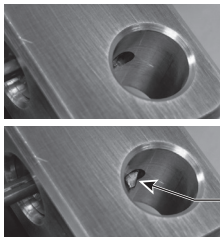
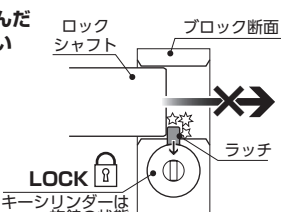
キーが奥まで挿し込まれているのにキーが3/4回転せず、途中で止まってしまう場合、ラッチがロックシャフトの穴に正しく入っていない可能性があります。アンダーブラケット（ロックシャフト側）を手で支えて固定し、本体（アップラーブラケット）を軽く前後に揺らすことで、ラッチが穴に入り込み施錠されます。
※この際のわずかなクリアランスは、許容範囲内です。



⚠ シャフト挿入時は、ラッチが沈んだ状態（解錠時）でご利用ください

キーシリンダーが施錠状態でシャフトを無理に挿入しないでください。キーシリンダーを破損し、解錠不可能となりますので絶対に行わないでください。

(シャフトを挿入する事でキーシリンダーのラッチを強制的に押し込む事になり、シリンダー内部の部品を破損します)



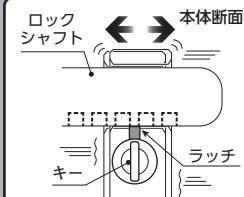
キーシリンダーは解錠の状態



キーシリンダーは施錠の状態



ラッチ



キーの破損要因
施錠できない時は
無理に回さない

⚠ 注意：ハンドルロックの取り扱いについて

- ・ハンドルロック脱着時、シャフト部でフロントガラスなどを破損しない様ご注意ください。
- ・炎天下や直射日光下での使用はご注意ください。車内での使用でもハンドルロックは熱くなります。火傷などにご注意ください。

取り付け動画はこちら▶



商品名	商品コード	備 考
ハンドルロック 【SHL-01+】	ミニバン / 乗用車	881-1201100 ●シングルキー仕様 (MAKE LOCK 社製)
キーシリンダーオイル	メンテナンス用品	880-9900000 ABLOY 製キーシリンダー専用メンテナンススプレー

お手入れについて

- 本体のお手入れ
 - ・ハンドルロック BODY 全体の軽い汚れは、柔らかいウエスで拭き取り、落ちにくい汚れは中性洗剤などで清掃してください。
 - キーシリンダーのお手入れ
 - ・キーシリンダーには定期的に ABLOY 純正ロックオイルを鍵穴に注してください。市販の石油系潤滑剤は使用しないでください。キーが固着して解錠できなくなる恐れがあります。
 - キーシリンダーの定期的なメンテナンスと正しい使用方法
 - ・キーシリンダーは、錆び難い材質と構造になっておりますが、埃や砂等が入り込むことで性能が損なわれ、最悪の場合、解錠 / 施錠が出来ない恐れがあります。定期的なメンテナンスと適正な保管をお願いいたします。
 - シャフトカバー（スポンジ材）について
 - ・スポンジ材は経年変化により劣化、色あせ等が発生します。あらかじめご了承ください。
 - ・著しく劣化している場合は交換してください。交換時、シャフトカバーにシャフトを挿入する際は、中性洗剤等で滑らしながら挿入してください。
- ※補修用シャフトカバーについても取り扱いがございますので、
弊社 Web サイトからサイズ・ご使用場所をご確認のうえ、ご注文して頂けます。

詳細の補修用
シャフトカバー
Web ページ ▶



キーシリンダー メンテナンス サービス各種

キーシリンダー	MAKE LOCK の場合
合鍵の製作について	・スベアキーの取り扱いはありません。付属のスベアキーを大切に保管してください。 ・鍵を紛失された場合、悪用が考えられますのでキーシリンダーとの SET 交換をお勧めいたします。 ※また防犯上、交換は弊社での作業となりますので、その際はお問い合わせください。キーシリンダー交換をご希望の際は、ご購入店もしくは、代理店までお持ち頂くか、FAX にてご注文を受け賜ります。
キーシリンダーの交換	キーシリンダー Assy (商品コード：880-0902900) 税別価格：¥5,000- (交換工賃無料) またシリンダーの状態により別途費用が掛かる場合がございます。 ※キーシリンダー単体での販売はいたしていません。 ※防犯上、キーシリンダーの交換作業は弊社で行います。
メンテナンス (オーバーホール)	MAKELOCK の場合は、オーバーホールのサービスは行っておりません。
送料	往復送料:お客様負担となります。キーシリンダー ASSY 交換費用代金+送料+代引き手数料の総額を弊社から代引き発送となります。

製品、装着について(必ずお読みください)

- 本製品の盗難予防対策とは、如何なる使用時においても、盗難防止を保証するものではありません。また設置環境や方法によっては、盗難被害に遭う可能性があります。使用時に車両盗難をされた場合、弊社は一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- ロック全種取り扱い上の注意
 - 鍵を紛失された場合、悪用が考えられますのでキーシリンダーとの SET 交換をお勧めいたします。また防犯上、交換は弊社での作業となりますので、その際はお問い合わせください。
 - 詳しくは〔キーシリンダーメンテナンスサービス各種〕の内容を参照
 - 使用ミス等によるパーツ、その他関連パーツの破損やそれに伴う事故等については全て使用者本人の責任とし、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
 - 本製品は重量があり、誤って落とすと思わぬ事故や怪我につながりますので注意して取り扱ってください。
 - 本製品を振り回すなど危険な行為を行うと思わぬ事故や怪我につながりますので絶対に行わないでください。
 - 車両に装着する際、装着場所によっては車両やパーツを破損する恐れがありますので、考慮のうえ十分にお気をつけてください。
- 本製品表面に傷等をつけないでください。傷口から変色、腐食等が発生する場合があります。
- 本製品の分解、改造はしないでください。
- キーシリンダーのメンテナンスには、別売のキーシリンダー用メンテナンススプレー (ロックオイル) を定期的にご使用ください。市販の石油系潤滑剤は使用しないでください。キーが固着して解錠できなくなる恐れがあります。
- 鍵穴に、鍵以外の異物、純正品以外の潤滑油を注したり入れたりしないでください。故障の原因となります。
- 保管場所は安全で落下しないような場所や幼児等が持ち運び困難な場所に保管してください。
- 脱着時、指を挟む可能性がありますので十分に注意して作業を行ってください。
- 車両に乗せて走行する場合は、運転の妨げにならない場所に収納してください。
- お気付きの点や、異常を発見した場合は直ちに弊社までご連絡ください。
- 製作改良に伴い予告無く仕様、外観などを変更する場合があります。
- ※金属製品は製造工程上、若干の小傷や錆、メッキやアルマイトの変色がある場合がございますのでご了承ください。
- ※アルマイト製品の場合は、経年変化により色あせ等が発生する場合があります。あらかじめご了承ください。

製品の保証について

- 製造には万全を期していますが、万一弊社の製造上の原因による品質不良がありました場合は同様、同数の新しい製品とお取り替え又は、無償修理いたします。但し、上記以外の故障、破損、事故等についてのパーツの代金、修理保証、整備費用等の代償はご容赦ください。
- 弊社製品の保証期間は商品購入後から 6 ヶ月です。



〒 577-0015
東大阪市長田 3-8-13
TEL.06-6783-5311 (代) FAX.06-6782-0740